

# 貞松院だより

第3号  
平成30年  
3月24日  
発行

お彼岸に寄せて

貞松院住職 山田雄道

諏訪も寒さが和らぎ、春のお彼岸を迎えました。春分の日と秋分の日をお中日とする前後3日間の合計7日間、その一週間をお彼岸といえます。「彼岸」とは季節を表す言葉ではなく、「お浄土」を表す仏教用語です。私たちの住む現実の世界「此岸(しがん)」から、阿弥陀さまの極楽浄土「彼岸(ひがん)」へ到る道を探ねていくことが本来の意味です。

中日は太陽が真東から真西に沈みます。太陽の沈む方向に極楽浄土があるということから、日本ではこの日に浄土を想い亡き方を偲ぶ日になったともいわれております。インドはもちろん、中国・韓国にもない日本独特の仏教行事です。

忙しさに追われて、み教えと疎遠になっていた私が、この気候のよい時季に、阿弥陀様の極楽世界を想い、我が人生を考え、仏縁を深めるのがお彼岸です。 合掌



主務者就任ご挨拶

主務者 岡村善夫

平成三十年を迎えましたが、早いもので春彼岸会となりました。今年役員改選の年に当たり、総代主務者を拝命いたしました。総代・地区世話人・檀信徒の皆様のご支援ご協力を頂き、貞松院の維持、発展に努めて参りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

◎平成三十年度からの新総代紹介

岡村主務者様のご挨拶にありましたように、今年一月より貞松院の総代十四名が交替されました。これから三ヶ年ご奉仕いただくこととなりました。総代の皆様は次の方々です。

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| 主務者   | 岡村 善夫(上諏訪A地区)   |
| 副主務者  | 後町 千文(中洲・下金子地区) |
| 一般会計  | 伊藤 久典(桑原地区)     |
| 墓地会計  | 浜 義一(上原地区)      |
| 境内委員長 | 稲邑 利夫(赤沼・飯島地区)  |
| 墓地委員長 | 大江 稔(細久保・武津地区)  |
| 山林委員長 | 矢崎 和雄(普門寺B地区)   |
| 監査    | 井原 孝志(中河原地区)    |
| 監査    | 平林 正孝(上諏訪A地区)   |
| 境内委員  | 西澤 直巳(木舟地区)     |
| 墓地委員  | 大御堂 光男(上諏訪C地区)  |
| 山林委員  | 浜 宗行(中河原地区)     |
| 〃     | 矢崎 正彦(普門寺A地区)   |
| 〃     | 藤森 由晃(湖南・田辺地区)  |

## ◎徳本上人大字名号特別展示



徳本上人大字名号

昨年は江戸時代の浄土宗の名僧徳本上人二百回忌を迎えるに当たり、全国で徳本上人と縁のある寺院で上人の法要やイベントが数多く催されました。

上人の生誕の地・和歌山県日高町では十月一日、大本山・増上寺八木大僧正台下お導師による徳本上人二百回忌法要並びに、日高町民センターにて上人縁の遺品・書画等の特別展が行われ、県内外から多くの方がご来場になりました。

その展示のメインとして、当山所蔵の「大字名号」が特別展示されました。上人は江戸時代信州巡錫(布教の旅)の際に貞松院に一週間程滞在し、多くの方にお念仏の教えを説かれました。

上人の独特書体で書かれた「南無阿弥陀佛」の名号は長さ約8尺あり、徳本上人の名号では日本一の大きさを誇り、日本の三幅と云われています。現存するものは貞松院の一幅のみです。



◎寄贈品のお知らせ

貞松院には、長野県指定文化財(県宝)の「阿弥陀三尊来迎図」をはじめ、諏訪史指定史跡の「松平忠輝墓所」、「貞松院殿墓所」、並びに市指定文化財の「松平忠輝遺品」、「貞松院殿遺品」、その他寺宝を所蔵しております。

この他に貞松院檀信徒の皆様から当院へ御寄進いただきました書画を新たな寺宝として本堂、庫裡に飾らせていただいております。昨年は新たに次の三点をご寄進いただきました。

①「白梅図」一幅

明治時代を代表する日本画家で飯田市生まれの菱田春草の「白梅図」を前総代をお勤めいただいた伊東義紀様より御寄進いただき、庫裡二ノ間に展示。

②「貞松院桜図」一幅

檀家の糸井一男様直筆の「貞松院桜図」の大作を御寄進いただき、控えの間に展示。

③「刻字般若心経」一幅

檀家の菊池民雄様のお兄様・井手定竹様作の「刻字般若心経」をご寄進いただき、本堂外陣右脇に掲げさせていただきました。

また先代住職在任中に次の三点をご寄進いただいております。



①白梅図



②貞松院桜図



③刻字般若心経



④みほとけ図



⑤貞松院山門図



⑥刻字木彫扁額

④「みほとけ図」一幅

先代和雄上人の横須賀高校教員時代の教え子で、文化功労者、日本藝術院会員、愛知県立芸術大学名誉教授の洋画家、島田章三画伯より、自筆の「観音図」を御寄進いただきました。本玄関控えの間に 展示。

⑤「貞松院山門図」一幅

檀家で信州美術会会員の矢崎ます子様自筆の「貞松院山門図」をご寄進いただき、庫裡二ノ間に展示。

⑥「刻字木彫扁額」一幅

先代和雄上人の友人で岡谷市出身の書家の太田谷山様より自作の「生者必滅 会者定離」の刻字扁額をご寄進いただき、本堂外陣左脇に掲げさせていただきます。

以上貴重な品々をご寄進いただき、今後寺宝として永くお守りさせていただきます。檀信徒の皆様もお寺にお寄りの際にはこれらの寺宝もご覧いただけましたら幸いです。

◎吉川忠英夜桜コンサート

毎年恒例のアコースティックギターの名手・吉川忠英夜桜コンサートを今年も四月十四日(土)午後七時より開催致します。詳細は貞松院ホームページにてお知らせ致します。